飯豊町農業委員会農地利用最適化推進委員の推薦及び応募状況結果

募集期間（平成29年4月3日～5月2日）

（平成29年5月2日現在）

2. 農地利用最適化推進委員

（1）推薦状況

No	提出日	推薦を受ける者						推薦者又は団体					
		氏名	性別	年齢	職業	経歴及び農業経営の概況	推薦地区	団体名又は職業	代表者又は氏名	構成員の人数	構成員の資格	推薦理由	農業委員への推薦有無
1	H29.4.5	後藤（ごとう） 勝之（かつゆき）	男	61	農業	置賜農業高校卒 旧農業委員（H17.7～H27.6） 椿地区、人・農地プラン推進員・中間管理機構協力員（H27～）水稲10ha	椿	椿地区生産組合	舩山　繁雄	86	農業従事者	農業者として地域の中心的な存在であり、認定農業として今後も地域の農業の代表として取りまとめをお願いしたく推薦します。	有
2	H29.4.10	遠藤（えんどう） 智行（ともゆき）	男	53	農業	長井工業学校卒 水稲4.0ha・露地野菜0.3ha	添川・松原	添川・松原生産組合	髙橋　芳春	186	生産組合農業者	認定農業者として地域の中心的な農家として活躍しており、今後も町の農業発展に貢献することが期待できる。	有
3	H29.4.10	髙橋（たかはし） 泰美（やすみ）	男	58	農業	農業大学校S54卒し農業に従事 水稲6.0ha	添川・松原	添川・松原生産組合	髙橋　芳春	186	生産組合農業者	認定農業者として地域の中心的な農家として活躍しており、今後も町の農業発展に貢献することが期待できる。	有
4	H29.4.17	齋藤（さいとう） 稔（みのる）	男	64	農業	現職農業委員（H23.7～） 水稲0.6ha	豊川	豊川地区生産組合	横山　則一	150	農業従事者	今後も町の農業発展に貢献することが期待できることから推薦します。	有
5	H29.4.17	伊藤（いとう） 儀宝（よしたか）	男	38	農業	豊川地区人・農地プラン推進員・中間管理機構協力員（H26～） 水稲10.0ha、畜産牛200頭	豊川	豊川地区生産組合	横山　則一	150	農業従事者	地域の農業者の代表として推薦致します。	有
6	H29.4.21	伊藤（いとう） 重徳（しげのり）	男	68	農業	前農業委員（H11～H17） 中津川農地利用改善組合長 水稲7ha	中津川	中津川地区生産組合	伊藤　秀一	93	農業従事者	これまで、中津川農地利用改善組合の組合長して農地相談への対応などを行っており、今後も地区の代表としてお願いしたく推薦します。	有
7	H29.4.26	手塚（てづか） 房夫（ふさお）	男	61	農業	JA山形おきたま飯豊支店H26.3退職し、農業従事／黒沢地区人・農地プラン推進員・中間管理機構協力員（H26～）水稲10ha	黒沢	黒沢地区生産組合	佐藤　幹彦	75	農業従事者	これまで、黒沢地区の人・農地プラン推進委員や農地中間管理機構の協力員として活躍しており、地域の中心的な存在であり認定農業でもあり推薦します。	有
8	H29.4.28	五十嵐（いがらし） 敏博（としひろ）	男	66	農業	置賜農業高校S43卒業後農業に従事 小白川地区人・農地プラン推進員・中間管理機構協力員 水稲6.0haラフランス10a	小白川	小白川地区生産組合	二瓶　幸浩	63	農業従事者	生産組合長などを歴任し、地域の中心的な存在であり、認定農業者として今後も地域の代表者として取りまとめをお願いしたく推薦します。	有
9	H29.5.1	長岡（ながおか） 賢市（けんいち）	男	56	会社員	置賜農業高校S55卒 安藤電気勤務 水稲2.2ha、WCS・アスパラガス1.1ha	中	中地区生産組合	島貫　正市	132	農業従事者	中地区の認定農業者として中心的な役に従事し、地域の農業振興について期待できる為推薦します。	有
10	H29.5.1	後藤（ごとう） 仁（ひとし）	男	58	農業	萩生地区人・農地プラン推進員・中間管理機構協力員（H26～） 水稲4.7ha・WCS4.1ha	黒沢	萩生地区生産組合	小浦　一美	140	農業従事者	これまでも、地域の人・農地プランや農地中間管理機構への農地貸付のマッチングに従事しており、萩生地域内の農地の有効利用について今後もお願いしたく推薦致します。	無

（2）応募状況

No	提出日	応募者							
		氏名	性別	年齢	職業	経歴及び農業経営の概況	認定農業者の有無	応募理由	農業委員への推薦有無
1	H29.5.1	寒河江（さがえ） 満（みつる）	男	73	農業	H16.4東日本旅客鉄道株式会社退職 H16.5～H24.7町子牛導入制度により2頭繁殖牛を経営	無	S22に農業開拓者として当地豊川地区に入植した亡き両親が残した、畜舎・作業場等と約1.2haの草地を、会社退職後、畑作農地と草地を活用して飯豊町も畜産振興と第2の人生、生きがいを求め営農に励んでまいりましたが、4年前に体調不良により、好きだった繁殖牛を続けることに限界があり、辞めました。畜舎等は昨年の夏に取り壊しましたが、残った農地を再利用していくために勉強していきたい、	無
2									
3									